

2021年8月10日

株式会社IHI

「2021年度 第1四半期決算」テレフォンカンファレンス  
主な質疑応答

1. 民間向けエンジン事業の業績および見通しは？

- ・ 北米を中心に一部地域の国内線の旅客需要が戻ってきており、V2500やCF34などの機種でスペアパーツ販売の回復が進んでいるという状況にある。
- ・ これまで取り組んできたコストダウン等の効果で、本体1台当たりの損益が改善している。
- ・ 今後の需要回復の程度については、まだ不透明であるため慎重に見極めたいが、足元の実績は会社の事業計画を上回っている。

2. 半導体供給不足の車両過給機事業への影響は？

- ・ 動向を十分注視していく必要があるが、現時点で損益面での影響は限定的であり、年初の業績見通しは達成可能と考えている。

3. アンモニア混焼の現状は？

- ・ 火力発電所でのアンモニア混焼は、実証事業が始まったところ。実証事業を計画どおりに行い、今後の受注につなげていきたい。

4. 計画されている資産売却の見通しは？

- ・ 当初の規模感にて計画どおり年度末までに売却を完了するべく、進めている。

5. 1Qで営業キャッシュフローが黒字になったことへの評価は？

- ・ 通常、年度末の工事代金の回収が1Qに集中するため、運転資本残高が減少方向になる。
- ・ 近年は、棚卸資産の増加等により1Qの営業CFがマイナスになっていた。(2021年度1Qの営業キャッシュフロー黒字は2017年度1Q以来4年ぶり)
- ・ 今年度1Qは、入金条件の改善等、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善取り組みの効果が表れたと評価している。

以上